

# 横浜みなとみらい21地区における100円バスを活用したTDM実証実験計画の概要 (平成14年3月～16年2月)

## 背景

- ・みなとみらい21地区や中華街・山下公園といった休日スポットに集中する自動車により、混雑が慢性化しており、都心部に発着する自動車や通過交通にも影響を与えている。
- ・休日には、各地から車が流入しているが、その約2割は、都心部内々で動いている自動車である。

都心部における回遊性を向上させつつ公共交通機関の利用を促進するため、自動車が駐車した後の短距離移動は公共交通機関を使うよう誘導する施策の有効性を検証。

(申請者) 横浜市

(主な実験内容)

- 100円バスネットワークの確立  
中華街・山下方面～みなとみらい21地区のルート、黄金町・日ノ出町～みなとみらい21地区のルートを新たに設定し、4路線で運行する。
- PTPSの導入  
運行のネックとなっている交差点等において、PTPSを導入し、交通量を抑制することにより渋滞を緩和し、定時性・速達性の向上を図る。
- パーク&バスライドの実施  
違法路上駐停車、回遊交通を削減するため、100円バスのルート上にある駐車場を使用しパーク&バスライドを実施する。また、利用者へのアンケート調査により、効果把握を行う。
- 違法駐停車監視員等によるバス走行環境の改善



関係行政機関等によるTDM実証実験の支援 (関東運輸局、関東地方整備局、神奈川県警察本部)

## 実験の成果

14年4月に日ノ出町駅ルート、同年6月に大さん橋・山下公園ルートを新設し、4路線によるネットワークを整備した。15年度では、土休日の1日あたり平均6,000人の利用があり、効果測定として14・15年度に各1回実施した利用者アンケートでは、「目的地へ確実に行ける」「いくつかの施設を回りやすい」といった回遊利便性を高く評価されている。

PTPSについては15年10月に桜木町駅周辺の3区間に導入し、1区間あたり約5～20%の旅行時間短縮効果が現れている。

パーク&バスライドについては14・15年度の秋に2回社会実験を実施し、延べ約1,300人/約600両の参加を得た。参加者の約7割が実験内容について回遊利便性の向上・駐車場探しのための路上滞留の緩和などについて高く評価する一方、今後の利便性向上においては「道路混雑のさらなる緩和」・「参加インセンティブの向上」についての要望も多かった。

## 実験後の状況

16年2月の地下鉄みなとみらい線の開業を踏まえた路線再編を実施し、現在は桜木町駅ルート・横浜駅ルート・日ノ出町駅ルートについて、引き続き地域企業・団体による協賛を得た上で、車の流入が特に多くなる土休日を基本として運行している。

PTPSについては、管制方法などについて引き続き神奈川県警察本部と調整しつつ、継続して運用していく。